

聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会、研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、研究について詳細にお知りになりたい場合や診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データから情報を削除できませんので、ご了承ください。

① 研究課題名	急性期脳梗塞に対する緊急再灌流療法の有効性および安全性に関する研究			
② 実施予定期間	承認後～2024年2月27日			
③ 対象患者	2011年4月から2024年2月の期間に当科に入院し、脳梗塞急性期に対する緊急再灌流療法として、機械的血栓除去術を中心とした血管内治療を受けた症例を対象とする。			
④ 対象期間	2011年4月～2024年2月			
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院			
⑥ 対象診療科	脳血管内科			
⑦ 研究責任者	氏名	福嶋由尚	所属	脳神経センター
⑧ 使用する資料等	年齢、性別、既知の脳梗塞危険因子（高血圧、心房細動など）などの一般的な患者背景因子に加えて、同療法の予後に関連することが知られている因子（点滴静注血栓溶解療法の有無、再開通分類、最終健常確認から再開通までの時間経過、頭蓋内出血性合併症の有無、画像所見など）、治療前後の脳梗塞重症度（NIH Stroke Scale）、発症前・退院時・発症3か月後の機能予後(modified Rankin Scale)			
⑨ 研究の概要	脳梗塞急性期治療の成績改善のためには、発症から治療による再開通までの時間短縮が最も重要なことは、上記試験結果から明らかで、病院前、院内の治療体制の改善が必要である。現在の当院の治療成績と問題点を明確化し、今後の体制整備に反映させる。			
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑪ 結果の公表	学会や論文等で発表いたします			
⑫ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」と言います）管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。			
⑬ 知的財産権	聖マリア病院に属します			
⑭ 研究の資金源	なし			
⑮ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません。			

⑩ データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。	
⑪ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリア病院 脳神経センター	
	電話	0942-35-3322（代表）